



おおつ 大澤 敦子さん

東大久保在住

- 富士見市音楽連盟 副会長
- コーラス野ばら所属

音楽で人と人がふれあうまちへ

私は学生のころから音楽に対するあこがれを抱いていましたが、参加する機会に恵まれませんでした。そんな中、南畑公民館で開催された合唱講座に参加し、練習を重ねながらひとつの曲をつくり上げていくコーラスの魅力を知りました。その講座がサークルに移行する形で「コーラス野ばら」の活動が始まり、以後20年間市内で活動を続けています。

その後、「コーラス野ばら」は「富士見市音楽連盟」に参加し、私自身も音楽連盟の役員として、地域で文化芸術活動を進める皆さんとともに活動するようになり、10年が経ちました。今年の7月に

は、毎年恒例のサマーコンサートを開催し、大盛況でした。一人ではできないことを、みんなの協力でやり遂げ、多くの方に喜んでいただけることにやりがいを感じています。

コーラスを通じて知り合った人と市内のほかの場所でも出会ったり私たちの発表を見た方がコーラスに参加してくれたりと、コーラスを通じて地域のふれあいの輪が広がりました。仕事や家庭のこと以外に自分自身のための時間を持つことの大切さを感じています。

これからも音楽を愛する人の輪がより若い世代へも広がることを願い、文化芸術の振興でさまざまな世代間がふれあう、心豊かな地域づくりのお手伝いができたらと思っています。



サマーコンサートのような

歴史・史・探・訪

ふじみ・発見!

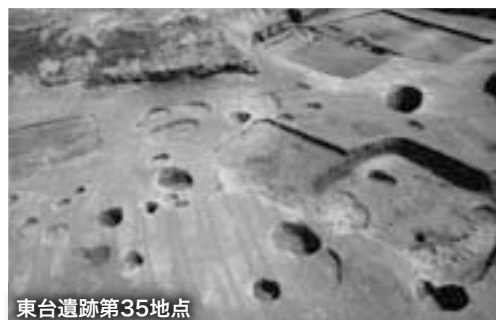
30

市内の発掘調査④

【東台遺跡 第35地点】

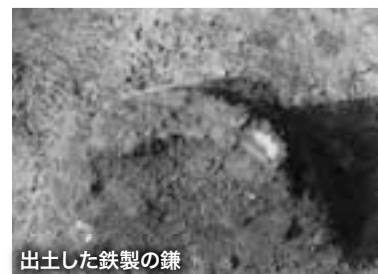
東台遺跡は水子の石井緑地公園の北側、みずたに幼稚園の北西から東にかけて広範囲に広がる遺跡です。遺跡は南西方向に柳瀬川を望む武蔵野台地上にあり、柳瀬川と台地の間は低地になっています。台地のへりに沿って湧水が数か所存在し、集落を形成するには良好な環境にあります。これまでの発掘調査で、旧石器時代の石器、縄文時代前期～中期の土坑・炉穴、弥生時代後期～古墳時代初頭の住居跡2軒・方形周溝墓(埋葬施設)3基、平安時代の住居跡55軒、中世の段切り遺構(斜面地での土地造成の跡)など多くの遺構が確認されています。

平成25年4月に発掘調査を行った第35地点では、平安時代の住居跡9軒・土坑・溝跡を多数確認することができました。本地点



東台遺跡第35地点

では、中央部分に溝跡が東西方向に延びており、その南側には2軒の住居跡が一部重なったものや3軒の住居跡が重なった状態のものなど、限られた範囲で遺構が密集した状態で分布していました。



出土した鉄製の鎌



出土した紡錘車

近年、水子地域では開発が進み、多くの遺跡が確認されています。東台遺跡周辺でもまだまだ調査が終わっていない箇所がたくさんあり、今後の発掘調査にも期待が持てます。

問合せ／生涯学習課 ☎049-256-7023

